

「次世代郊外まちづくり」の第1号モデル地区を たまプラーザ駅北側地区に決定しました！ ～ 住民参加のキックオフフォーラムを7月14日に開催します ～

趣 旨

横浜市と東京急行電鉄株式会社（以下「東急電鉄」という。）は、今年4月18日に締結した「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定（以下「包括協定」という。）に基づき、第1号のモデル地区を、たまプラーザ駅北側地区（横浜市青葉区美しが丘1～3丁目 面積：約120ha）に決定しました。

また、モデル地区での「次世代郊外まちづくり」推進の第一歩となるキックオフフォーラムを7月14日（土）に開催します。

1 モデル地区の決定

横浜市と東急電鉄は、横浜市が国の選定を受け推進している「環境未来都市」計画の主要プロジェクトとして実施する「次世代郊外まちづくり」について、今般、第1号のモデル地区をたまプラーザ駅北側地区（青葉区美しが丘1～3丁目）に決定しました。

モデル地区選定理由

たまプラーザ駅北側地区は、東急田園都市線沿線で初期に開発された地区の一つで、開発以来約50年が経過し、住民の高齢化、建物等の老朽化が顕在化しつつある。戸建住宅街、大規模団地、企業社宅や商業施設等、多様な形態で「まち」が構成されている。

住民発意の建築協定や地区計画の策定、また昨年10月に開設された「美しが丘ボランティアセンター」など、先進的なまちづくりに取り組んでいる基盤がある。



2 キックオフフォーラムの開催

「次世代郊外まちづくり」の第一歩として、モデル地区在住、在勤の方々を中心にご参加いただく「次世代郊外まちづくりキックオフフォーラム ～【R e 郊外】発想の転換と市民の行動で郊外は魅力的に生まれ変わる！～」を7月14日（土）に開催します。

モデル地区では、「次世代郊外まちづくりキックオフフォーラム」に続き、地域の皆さまとのワークショップ等を開催し、来年3月を目途に「次世代郊外まちづくり構想」を策定します。その中から具体的なテーマでのプロジェクトを実施していく予定です。

「次世代郊外まちづくりキックオフフォーラム」の概要は、以下のとおりです。

「次世代郊外まちづくりキックオフフォーラム」の概要

タイトル 【R e 郊外】発想の転換と市民の行動で郊外は魅力的に生まれ変わる！

開催日時 2012年 7 月14日（土） 13時～16時30分

会場 たまプラーザ テラス プラーザホール by iTSCOM

主催 横浜市・東京急行電鉄株式会社

後援 東京大学 高齢社会総合研究機構

募集人員 200名（入場無料・事前申込）

応募者多数の場合は、モデル地区在住、在勤の方を優先します

内容 まちづくりトーク 「次世代のまちづくりとは：コミュニティ・リビングの夢」
東京大学 工学部 都市工学科 教授 大方潤一郎

まちづくりトーク 「まちを楽しむ・伝える・もっと好きになる！」

東京理科大学 理工学部 建築学科 准教授 伊藤香織

まちづくりディスカッション

申込方法 モデル地区内等に掲示、配布されるポスター、チラシ等をご覧ください

* 「次世代郊外まちづくり」は「既存のまちの持続、再生」を目的に、地域住民、行政、大学、民間事業者の連携、協働によって「暮らしのインフラ」と「住まい」を再構築し、少子社会、高齢社会の様々な課題を一体的に解決していくことを目指していく従来にならぬ参加型、課題解決型のまちづくり手法を進めるプロジェクトです。横浜市が推進している「環境未来都市」計画において、超高齢化対応の主要な取組である「持続可能な住宅地プロジェクト」として位置づけているものです。